



民足協いばらき

☆民生委員・児童委員徽章は、幸せのクローバーに「み」の文字と双葉で鳩をかたどり愛情と奉仕を表しています。

2015年(平成27年)6月15日 第75号



静峰ふるさと公園 八重桜まつり(那珂市)

鶴見編集委員 撮影

目次

- | | |
|---------------------------|-----------------|
| ● 会長あいさつ..... 2 | ● 地区民児協だより |
| ● 県保健福祉部長あいさつ..... 2 | ・ 常陸大宮市..... 6 |
| ● 全国民生委員指導者研修会に参加して... 3 | ・ 大洗町..... 6 |
| ● 全国児童委員研究協議会に参加して..... 3 | ・ 河内町..... 7 |
| ● 平成27年度事業計画・収支予算 4 | ・ 境町..... 7 |
| ● 平成26年度事業報告・収支決算 5 | ● 事務局だより..... 8 |
| | ● 編集後記..... 8 |

広げよう 地域に根ざした 思いやり

新年度を迎えて



県民児協会長 鯨井 登美子

新年度を迎え、委員の皆様には、心新たに日々の活動に取り組まれ、地域福祉の充実にご活躍のことと存じます。

初夏の公園では、我が子を笑顔で見守る若いお父さんお母さんの姿を数多く目にします。その一方で、両親がうさぎ用のケージに監禁して虐待を続け、命を奪ってしまふという耳を疑うような事件が報道されました。救う手立てはなかったのでしょうか、残念な思い

でいっぱいになります。事件を耳にするたびに、地域へのアンテナを高くし、正確な情報を早く関係者につながなければとの思いや、子育て世代の方とも積極的に触れ合い、信頼関係を築かなければとの思いが増すばかりです。

四月から、「生活困窮者自立支援制度」がスタートしました。困窮状態の人々の早期発見や支援へ

のつなぎ役として、当事者の声にならない声を拾い上げていくには、日頃から、地域住民に民生委員・児童委員の身近な相談相手として認識されていることが大切なことと思います。

平成29年には、民生委員制度創設一〇〇周年を迎えます。この大きな節目を前に、地域住民の「心のよりどころ」になり、「見守り」「発見」「受け止め」「つなぐ」など、私たちの使命を改めて心にとどめ、日頃の活動を見直してみること必要なことではないかと考えております。

結びに、先の理事会において、会長に再任されましたので、今後とも県民児協事業へのご協力を切にお願ひ申し上げますとともに、皆様のさらなるご健勝とご活躍を心よりお祈り申し上げます、ごあいさつとさせていただきます。

「安心して健やかに暮らせる」「住みよい

いばらきづくり」をめざして



茨城県保健福祉部長

松岡 輝 昌

民生委員・児童委員の皆様には、日頃から県民に対する様々な相談や援助活動を通して、地域福祉の向上に多大なる御支援と御協力を賜っており厚く御礼申し上げます。

さて、近年の少子化に伴う本格的な人口減少社会の到来や高齢化の急速な進展など、社会情勢が大きく変化しており、地域社会においては、地域コミュニティの希薄化、高齢者の孤立死、児童虐待問題など、生活課題はますます複雑・多様化しています。

このような背景を踏まえ、県といたしましては、保健・福祉・医療の充実に努め、誰もが安心して健やかに暮らすことができる「住みよいいばらき」づくりのための様々な施策に取り組んでいるところであります。

まず、高齢者対策につきましましては、住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最後まで続けることができるよう、住まい・医療・介護・予防・生活支援を一体的に提供する地域包括ケアシステムの

構築を進めるとともに、認知症対策の推進など、地域住民の参画を得ながら介護基盤の充実に図ってまいります。

また、少子化対策につきましましては、本年3月に策定した「大好きいばらき次世代育成プラン」に基づき、結婚・妊娠・出産・育児のライフステージに応じた総合的な支援を展開するとともに、特定教育・保育施設等の整備による待機児童対策をはじめ、家庭を築き、子どもを産み育てるという希望をかなえる環境づくりを推進してまいります。

こうした施策の推進にあたっては、住民の身近なところで問題を発見し、関係機関・団体等との連携を図りながら、地域住民の立場に立って相談、援助を行う皆様方のお力添えが不可欠であることは言うまでもございません。

皆様におかれましては、地域福祉推進の担い手として、より一層の御尽力を賜りますようお願い申し上げます。ご挨拶といたします。

全国民生委員指導者研修会 「第24回全国民生委員大学」に参加して

県民児協理事 倉持嘉男

平成27年2月18日～20日に、神奈川県葉山町のロフォス湘南において、全国から130名が参加して研修会が開催されました。

初日は、厚生労働省援護局地域福祉課の八木澤智之氏より「地域福祉の動向と民生委員活動」について行政説明があり、その中で来年度から始まる「生活困窮者自立支援制度」の説明がありました。

次に全国民生委員児童委員連合会の福田豊衍副会長より、「都道府県・指定都市民児協活動の推進」についての基調報告があり、民生委員・児童委員を取り巻く環境と、新任委員をどの様に支え育てるかリーダーの役割などの報告がありました。

続いて「人権啓発DVD視聴」の人権研修があり終了となりました。2日目は、参加者全員が予め5～6人のグループに分けられて用意された席に着き、「新任の民生委員・児童委員を支えるために」をテーマにした研修に成りました。始めにルーテル学院大学の市川一宏教授の講義から始まり、コーディネーターの法政大学非常勤講師西田ちゆき氏から、リーダーとして何が求められているか、何を

したいか、何が出来ることが、明確になるような討議にすることの助言がありグループ研修に入りました。私のグループは、広島、長野、福岡、三重の各県からの5名で、グループ毎の討議と結果発表が行われました。討議の中で情報交換もあり、大変有意義な研修になりました。

3日目は、「阪神淡路大震災20周年を迎えて」と題して、芦屋市民児協の中野久美子前副会長からの講義がありました。

3日間の研修で新任委員を受け入れた時、どのような研修をどの段階で行うか討議しましたが、定例会運営において行政・社協等から支援を

受けられる日常活動についての情報提供が大切ではないかと感じました。



全国児童委員研究協議会に参加して

県民児協副会長 宮島孝明

平成27年2月2日～3日、東京ベイ幕張ホールを会場として、全国児童委員研究協議会が全国から298名の参加のもと開催されました。

初日は、厚生労働省の三浦幸専門官より、「児童福祉の動向と児童委員活動」と題して、健全な子育てができない環境の昨今、児童虐待防止法が制定された経緯や動向等についての行政説明がありました。続いて、昭和女子大学・國學院大学講師・高橋久雄氏による「児童委員活動への期待」の講義がありました。また、明治学院大学教授・松原康雄氏をコーディネーターとして、「悩みを抱える子どもたちを一人にさせない地域づくり」をテーマにシンポジウムが行われました。シンポジストとして、吉田恒夫氏(児童虐待)、奥地圭子氏(登校拒否)、桑原ハル子氏(主任児童委員としての体験談)の発表がありました。主任児童委員制度発足後20年が経過し、年々少子化が進み、児童虐待が増加する現在、市民・企業・ボランティア団体と地域の協力を得て、

私たちはオレンジリボン運動に向けた行動の重要性を再認識しました。

2日目は、4分科会に分かれ、私は第一分科会「児童委員協議会としての取組を進めていくために」講師・松原教授の分科会に参加しました。発表者の一人になり、私ども民児協における児童問題に対する取組などを発表をしました。また、そのおりに、茨城県の魅力度が低いことから、PRをさせていただきます。



平成27年度 事業計画・収支予算

運営方針

少子高齢化の進展、家庭や社会の姿が変化中、人間関係が一層希薄になっており、さまざまな生活課題を抱え、支援を必要とする人びとが増加しています。特に、経済的困窮や社会的孤立の状態にある人びとへの支援、高齢者、障がい者、児童への虐待問題や子どもの犯罪被害、増加する認知症高齢者の見守りや家族への支援、ニセ電話詐欺など特殊詐欺の被害防止などは社会全体で取り組むべき課題となっています。

今年度からは、生活困窮者自立支援制度や子ども・子育て支援新制度の施行、さらに、昨年度改正された介護保険制度の一部が施行されます。

そうした中であって、常に住民の立場に立って活動する民生委員・児童委員に寄せられる期待は一層大きなものとなっています。

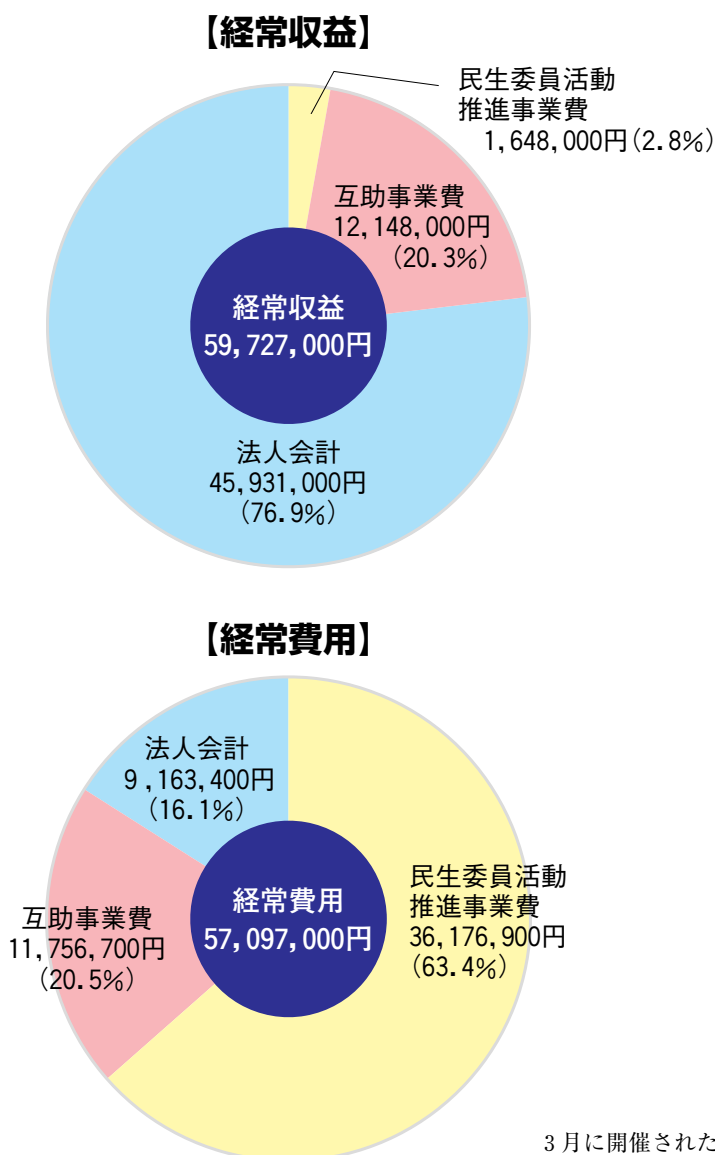
また、2年後には、民生委員制度100周年を迎えます。わたしたちは、この大きな節目を前に、誰もが安心して

住み続けることができる地域社会づくりに向け、「民生委員制度100周年に向けた活動強化方策」のもと、全民児連との連携・協働を通じ、日常的な見守り活動等を通して、これからも地域に密着した活動をすすめ、地域福祉の向上に貢献していきます。

本年度重点目標

- 支援を必要とするあらゆる人びとが孤立することのないよう、日々の訪問や見守り、相談活動に取り組み、早期に必要な支援につなぎます。
- 住民の多様な生活課題に対応するため、地域の幅広い関係者との連携とともに、住民同士のつながりを強め、支えあい、助けあうことができるまちづくりに努める。
- 虐待やいじめ、体罰、犯罪被害、貧困の連鎖などから子どもたちを守り、健やかな成長を支えるため「我が地域ならでは」の取り組みに努める。

平成27年度収支予算



月別事業計画

事項 月	県民児協
4	・民児協いばらき編集委員会 (9日) ・正副会長及び総務委員合同会議 (14日) ・主任児童委員委員長会議 (21日)
5	・監事会 (12日) ・理事会 (14日) ・民児協いばらき編集委員会 (15, 26日) ・児童福祉部会 (19日) ・評議員会 (29日)
6	・互助事業運営委員会 ・民児協いばらき編集委員会 (9日) ・民児協いばらき (75号) 発行 ・市町村民生委員児童委員協議会長・副会長合同研究協議会 県北・県央・鹿行地域 (11~12日 大洗町) 県南・県西地域 (18~19日 大洗町)
7	・市町村民生委員児童委員教室 県北・県央・鹿行地域 (9~10日 大洗町) 県南・県西地域 (16~17日 大洗町)
8	・理事会
9	・主任児童委員研修会 (4日 水戸市) ・互助事業運営委員会 ・正副会長会議 (11日) ・理事会 (18日) ・全体研修会 (29日 茨城県立県民文化センター)
10	・民児協いばらき編集委員会 ・第34回茨城県民生委員児童委員大会 (29日 茨城県立県民文化センター)
11	・民児協いばらき編集委員会 ・理事会
12	・民児協いばらき編集委員会 ・互助事業運営委員会
1	・評議員会 ・民児協いばらき (76号) 発行
2	・正副会長及び総務委員合同会議
3	・互助事業運営委員会 ・理事会 ・評議員会

3月に開催された平成26年度第3回理事会(12日)及び第2回評議員会(27日)において、平成27年度の事業計画と収支予算が承認されました。

平成26年度 事業報告・収支決算

事業報告

1 協議会の運営

- 正副会長会議（5回）
- 理事会（3回）
- 監事会（1回）
- 評議員会（2回）
- 部会、専門委員会
 - ・総務委員会（2回）
 - ・編集委員会（8回）
 - ・児童福祉部会（1回）
 - ・主任児童委員連絡会（4回）

2 研究協議会等の開催

- 市町村民生委員児童委員協議会会長・副会長合同研究協議会（2回）
- 市町村民生委員児童委員教室（2回）
- 民生委員・児童委員全体研修会（1回）
- 主任児童委員研修会（1回）

3 全国会議等への参加

- 第83回全国民生委員児童委員大会
- 第74回関東ブロック民生委員児童委員活動協議会
- 民生委員児童委員等を対象とする相談技法研修会
- 民生委員・児童委員リーダー研修会

- 全国主任児童委員研修会

- 児童委員研究協議会

- 民生委員指導者研修会

4 市町村民生委員活動の推進

- 指定民児協
 - ・龍ヶ崎市愛宕地区民生委員児童委員協議会
 - ・高萩市民生委員児童委員協議会
 - ・筑西市下館東部地区民生委員児童委員協議会
 - ・鉾田市旭地区民生委員児童委員協議会

5 茨城県民生委員児童委員大会

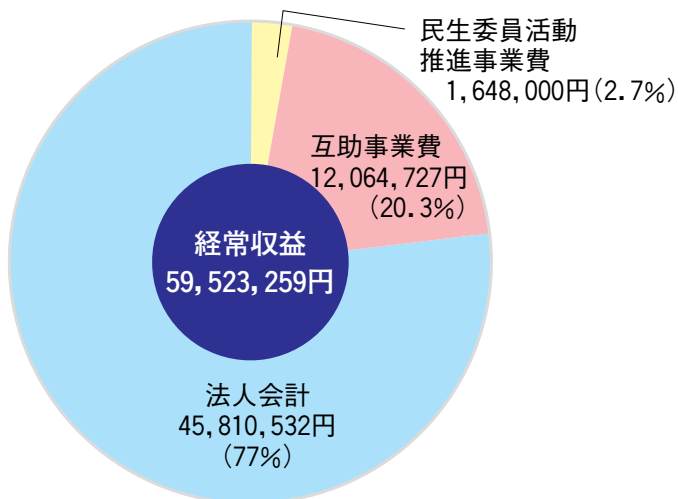
- 第33回茨城県民生委員児童委員大会

6 その他の主な事業

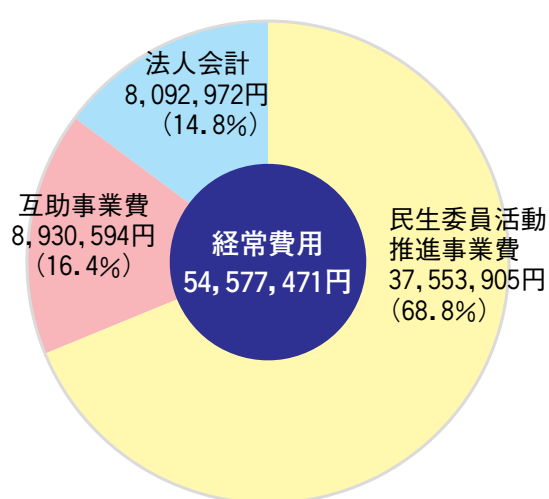
- 「民生委員児童委員の日活動強化週間」の取り組み強化（5月12日～18日）
- 情報の提供
 - ・民児協いばらきの発行（2回）
- 互助事業の実施
 - ・全国民生委員児童委員互助事業及び県互助事業の実施

平成26年度収支決算

【経常収益】



【経常費用】



5月に開催された平成27年度第1回理事会（14日）及び第1回評議員会（29日）において、平成26年度の事業報告及び収支決算が承認されました。

協 だ よ り

常陸大宮市

常陸大宮市美和地区民児協活動について

常陸大宮市美和地区民児協会長 相田 守治

常陸大宮市は、合併後10年が経過し、人口は約5000人余り減少しています。少子高齢化が年々進んでおり、高齢化率も32.5%と県内でも高い水準となっています。

市連合民児協は、現在139名(うち主任児童委員11名)の委員で構成され、五つの地区民児協でそれぞれ活動をしています。平成25年9月に、少子化対策のひとつとして「縁結びサポーター推進事業」を開始しました。結婚を希望する独身の方に登録を勧めて相手を紹介する事業です。県のサポーターとも連携を図り、事業を進めています。なかなかよい結果が出ていない状況です。

美和地区民児協は、毎月9日(祝祭日は前後)に定例会を開催しています。今年度の事業は、知識や資質の向上を目的に日帰り研修2回と一泊の県外研修を予定しています。一泊の県外研修は、委員同士の親睦を深めるため大切な事業と考えています。

地区内には幼稚園、保育所、小学校が一ヶ所ずつあり、訪問しながら先生方と懇談をすることで子供たちの実態把握を行っています。

また、地区内のひとり暮らし高齢者は、159名おり、地区委員が訪問して見守りを続けています。昨年の夏には、区長会とも連携を図り熱中症予防チラシを作成し、配布しました。

過疎化が進み、様々な問題を抱えています。地域に少しでも役立てるよう日々努力していきたいと考えています。



大洗町

大洗町民児協活動について

大洗町民児協会長 小野瀬 優

大洗町民生委員児童委員協議会は、男性17名、女性22名、計39名(うち主任児童委員 男性2名)、平均年齢64.6歳・在職数 最小1期、最大9期、平均3期で構成しています。

誰もが安心して生活できる地域づくりのために、行政、福祉団体等と共に様々な活動に取り組んでおり、毎月開催している定例会では、近年めまぐるしく変化する社会保障制度等について勉強し知識を深めるほか、各地域での日常生活の中で起こる様々な事例を報告し、問題解決に向け話し合いを重ねています。

各機関と連携した活動の一つに、見守りが必要な高齢者に対して、安否確認を兼ねた月6回の配食(お弁当)サービスへの協力をしています。

また、毎年度の協力行事として、高齢者、障害者、園児・児童らが一同に参加する「いきいき体育祭」、青少年相談員、保護司、更生保護女性会共同の「町内学校訪問」、町主催の「敬老会」、町社協主催の「健康福祉祭り」への参加協力をしています。

こうした日々の活動のほか、甚大な被害を及ぼした東日本大震災発生時における民生委員としての活動に對して、県内外からも評価・関心をもっていた。これまでに8つの民児協から視察をうけています。

今後も、地域住民の身近な相談先として、地域福祉の推進・向上につながる活動に努めていきます。



町内保育園への訪問活動

民 児 区 地

河内町

河内町民児協活動について

河内町民児協会長 田中 正一

河内町民児協は、定数24名(うち2名は主任児童委員)で構成され、1名欠員の23名で活動し、毎月第2火曜日に定例会を開催しています。

事項別委員会、広報委員会、研修委員会があり、各委員会ですれぞれに活動を計画し、実施しています。昨年は、児童生徒夏期対策として、各種団体と情報交換会をもち、通学路、防犯上の危険ヶ所の点検、児童生徒の地域での活動などの話し合いを行いました。

さらに、近年は各地で大きな自然災害が発生しています。私達民児協としても今年の推進事項として、全国民児協が重点目標としている「災害時一人も見のがさない運動」を目的活動とし、救急キット、災害時要援護者、防災マップの再度見直し、高齢者への安否確認、防災PR活動支援の強化を、継続的に取り組んでいます。平成26年度河内町が、初めて総合防災訓練を実施しました。私達民児協

もその一端を担うことになり、地震発生を想定し、民児協は災害弱者の安否確認、災害初動時における情報の収集、消防団への伝達訓練を行いました。女性委員は、非常食(アルファ米)の炊き出し、災害対策設置訓練及び、体験などを実践的に行いました。

初めてのことでしたので課題が残りましたが、平常時から住民同士の顔の見える関係づくりなど、地域の防災力を高めることが必要と思いました。



境町

境町民児協活動について

境町民児協会長 長濱 隆夫

境町民児協は、男性34名、女性13名(うち主任児童委員3名)で活動しています。

この地域では、全ての役や機会を均等にという風習が強いので、3年毎の改選時期には委員の交代が多く、前回は62%が新任となりました。従って基礎からの勉強も必要となり、小グループによる福祉施設見学等の勉強会を実施し、その内容を定例会で発表して全員で共有するようにしております。

一部の地区では、ひとり暮らしのお年寄りを孤立させないために、小学生の総合学習の一環にもなるお年寄りとの交流会を小学校と協力して開催しています。小学生のリコーダー演奏やお年寄りとの大合唱、お年寄りと同年代の方々のマジックショーを楽しみ、ボランティアによる手打ち蕎麦を皆でいただきます。地元の方や学校の先生方にも大変好評です。

また、近年では不登校児童やいじめが全国的に問題になっています。当民児協では各地区担当の民生委員と主任児童委員が年に数回学校を訪問し、校長、教頭、生徒指導主事の先生と情報交換し対応を考えています。

その他、全国各地で自然災害が多くなってきたことから、避難に支援が必要な高齢者や障がいを持つ方がいる世帯を調査し、自治体と協力して要援護者台帳の作成をするなど緊急時の共助に備えています。

今後も、暮らしの中で顕在化しにくい問題や不安を抱えている方々が少しでも安心して暮らせる地域づくりを目指す一助となる活動をしていきたいと思っています。



事務局だより

◎ 祝受賞

この度、次の方が栄えある褒章を受けられました。心からお祝い申し上げます。(敬称略)

○褒章

藍綬褒章

清水 愛子(土浦市)

役員紹介

平成27年5月の定例評議員会において、役員の任期満了に伴う改選及び評議員の補充選任があり、次の方々が選任されました。また、同日付で行われた理事会において、会長、副会長が選任されました。

●役員

会長 鯨井登美子(下妻市)
副会長 竹内 昌信(小美玉市)
宮島 孝明(つくばみらい市)
佐野 道夫(土浦市)
理事 大内 元一(水戸市)
井上 充宏(日立市)
畔野 文雄(常陸太田市)
佐藤 肇(笠間市)
慶野多美子(つくば市)

●評議員

神保 忠正(ひたちなか市)
鶴見 重夫(筑西市)
倉持 嘉男(坂東市)
市村 捷二(北相馬郡)
石川 真澄(県福祉指導課長)
小林 俊秀
監事 岩崎 昭一(稲敷市)
今郡 利夫(神栖市)
中野 篤(久慈郡)

●県保健福祉部の人事異動

民生委員・児童委員関係

(平成27年4月1日)(敬省略)

部長 松岡 輝昌(新任)
次長 嶋田 一郎(新任)
参事兼厚生総務課長 寺門 利幸(新任)
福祉指導課長 石川 真澄(新任)
子ども家庭課長 石川 祐治(新任)
長寿福祉課長 荒井 正徳(留任)
障害福祉課長 高塚 和郎(新任)
福祉相談センター長 桜井 正樹(新任)
中央児童相談所長 白井 正美(留任)
土浦児童相談所長 岡田 崇弘(留任)
筑西児童相談所長 高橋 活夫(新任)

●お知らせ

県民児協主催の研修会及び

県大会予定

- 市町村民生委員児童委員協議会
会長・副会長合同研究協議会
【県北・県央・鹿行地域】
6月11日(木)～12日(金)
大洗シーサイドホテル
- 【県南・県西地域】
6月18日(木)～19日(金)
大洗シーサイドホテル
- 市町村民生委員児童委員教室
【県北・県央・鹿行地域】
7月9日(木)～10日(金)
大洗シーサイドホテル
- 【県南・県西地域】
7月16日(木)～17日(金)
大洗シーサイドホテル
- 主任児童委員研修会
【県内全域】
9月4日(金)
県総合福祉会館
- (コミュニティホール)
○民生委員児童委員全体研修会
【県内全域】
9月29日(火)
県立県民文化センター
- 第34回茨城県民生委員児童委員大会
10月29日(木)
県立県民文化センター

編集後記

今日、賃上げや株高等により経済が明るさを呈している一方で、全国の生活保護受給者が160万世帯を超えるなど、格差の開きも感じられます。

折しも4月から、第二のセーフティーネットとして生活困窮者自立支援制度がスタートしました。

失業者、ホームレス、引きこもりなど様々な人たちの中で、生活保護に至ってない生活困窮者の支援や貧困の世代間連鎖を防ぐ役割も担っています。

民生委員・児童委員の役割としては、日々の訪問活動を通じて生活困窮者の早期発見、関係機関との連携、見守り等が一層期待されています。

編集委員 井上 充宏

発行人

一般財団法人

茨城県民生委員児童委員協議会
会長 鯨井 登美子

〒310-0851

水戸市千波町1918

茨城県総合福祉会館内

TEL 029-243-5361

FAX 029-243-5902

URL: <http://www.ibaraki-minjikyo.or.jp>E-mail: iba-minjikyo@bz01.plala.or.jp